



Title	大阪大学低温センターだより No.25 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 25
Issue Date	1979-01
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/21947
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本誌もこれで25号、創刊以来7年目の春を迎えました。当時、準備に馳せ参じた長谷田編集長以下14名の同志が、いかにして新鮮さと創造性にあふれた魅力ある紙面にするか、けんけんがくがくの大激論を闘わしたのが昨日のことに思えてなりません。「星霜移り人は去り」の詩の通り、創刊号に巻頭言をお寄せ下さった永宮教授全国に先きかけてこの阪大に極低温実験を建設すべく永宮教授とともに奔走努力された伊藤教授はすでに定年退官され、今また創設期の労苦を共にされ、本号に巻頭言をお寄せ下さった関教授が阪大を去られようとしています。残された我々若手が、これら諸先生方の御苦労にいささかでも報いる道は、全力を尽くして創造的研究活動に邁進する以外ないと覚悟しています。本誌が、低温研究における身近かな情報交換と、ホットな討論の場として、このような創造活動のための一助にもなれば望外の喜びと考え、編集委員一同張切って仕事を続けております。どうか皆さん、素晴らしいアイデア、生々しい苦心談をはじめ、建設的な批判、自己批判などどしどしお寄せ下さい。

ところで昨年は極低温の分野で又一つ素晴らしいニュースがありました。サクレーグループの「中性子回折による核オーダーの実験的検証」がそれで、リーダーのAragamが、NMRによる核オーダーの最初の発見を報じてから約10年の歳月をかけた労作であります。全く「怠らず行かば千里の外も見ん。牛の歩みのよし遅くとも」であり、グループの一人であるGoldmanから聞かされた種種の苦勞談と思ひ合せて感慨無量のものがあります。

最後に理学部関研の御好意によって、記念すべき本号の表紙が素晴らしいものになったことに感謝し、皆様の御協力によって本誌が益々発展していくことを願いつつ筆をおきます。

(松浦記)

◎ 本号より編集委員が一部入れ替りました。

旧委員 天谷喜一 (基礎工, 物性)

新委員 大山忠司 (教養, 物理)

大阪大学低温センターだより 第25号

昭和54年1月発行

編集責任者 長谷田 泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話 (06) 877-5111

内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話 (06) 856-1151

内線 2562

印刷所 と う け ん 社

大阪市福島区海老江8丁目7番27号

電話 (06) 451-1061

代表 村 上 喜 与 志

